

【議員定数削減を実現する議員立法提出の呼びかけ】

平成23年12月8日

社会保障と税の一体改革についての素案が年内にも取りまとめられる方向が打ち出されているが、国民の多くは、やるべきことをやらずに増税を求めようとする政治のあり方に強い不満を持っている。とりわけ、我が党は、2009年の衆議院マニフェストにおいて、国会議員定数の削減を掲げながら、国会議員自身が、己の「身を切る改革」に極めて消極的であると見られていることが、不信と不満の源になっていると考える。

そこで、我々一期生有志一同は、国家公務員総人件費の削減をはじめとした行政改革を進めることとあわせ、消費税の税率引き上げを行う場合には、マニフェストで約束した国会議員定数の削減が先行すべきだと考え、まず、衆議院議員定数削減のための議員立法の提出も視野に入れつつ、定数削減に向けた具体的な行動を展開していくことを、一期生同志に呼びかけるものである。

仮に、こうした「身を切る改革」を行うことなく、増税が先行するようなことがあれば、我々は、議員定数削減を実現すべく、断固として行動する覚悟である。

呼びかけ人

阿知波吉信、石津政雄、磯谷香代子、江端貴子、大西健介、緒方林太郎、奥野総一郎、小原舞、柿沼正明、勝又恒一郎、櫛渕万里、後藤祐一、近藤和也、斉木武志、柴橋正直、白石洋一、高井崇志、高橋昭一、高橋英行、高邑勉、玉木雄一郎、竹田光明、道休誠一郎、永江孝子、中林美恵子、仁木博文、橋本博明、花咲宏基、藤田憲彦、三村和也、森本和義、谷田川元、山尾志桜里、山崎摩耶、山田良司（五十音順）

上記の趣旨に賛同します。

署名 藤田憲彦 衆1 衆2 会館番号 716

なお、本活動の呼びかけ人になっていただける方は、下記に○をつけてください。

呼びかけ人になる。